

会 議 録

会議名 (審議会等名)		第 6 回相模原市広域交流拠点基本計画検討委員会		
事務局 (担当課)		都市建設局まちづくり計画部広域交流拠点推進課 電話 042-707-7047 (直通)		
開催日時		平成 2 6 年 1 月 9 日 (木) 1 8 時 3 0 分 ~ 2 0 時 3 0 分		
開催場所		ソレイユさがみ セミナールーム 1		
出席者	委員等	1 5 名、オブザーバー 1 名 (別紙のとおり)		
	事務局	8 名 (都市建設局まちづくり計画部広域交流拠点推進担当部長、 都市建設総務室長、広域交流拠点推進課長、 広域交流拠点推進課担当課長、都市計画課長、交通政策課長、 環境経済局経済部産業政策課長、商業観光課長)		
公開の可否		可	不可	一部不可
		傍聴者数	4 人	
公開不可・一部 不可の場合は、 その理由				
会議次第		1 あいさつ 2 議題 (1) 広域交流拠点基本計画 検討の進め方について (2) 広域交流拠点基本計画素案 (概要版) について (3) 広域交流拠点基本計画素案 (本編) について 3 その他		

審 議 経 過

出席委員数が定足数に達していることを確認後、議事に入った。

主な内容は次のとおり。(は会長、 は委員、 は事務局、 はオブザーバーの発言)

(1) 広域交流拠点基本計画策定の流れについて

事務局から説明した後、質疑応答を行った。

(特に質問・意見がないため広域交流拠点基本計画素案の説明に入る。)

(2) 広域交流拠点基本計画素案について

事務局から説明した後、意見交換等を行った。主な発言は以下のとおり。

素案の内容を中心にご意見を伺いたい。何かご質問は。

「広域交流拠点」の言葉の由来は何か。

市の総合計画等の上位計画の中で、首都圏南西部における広域交流拠点都市を位置づけている。

平成 22 年の政令指定都市移行前に策定された政令指定都市ビジョンで明記されたのでは。

本市は以前より橋本、相模原、相模大野の 3 つの中心市街地を拠点としてまちづくりを進めてきており、市内の都市機能の集約を図る中で、政令指定都市への移行に伴い圏域外との交流を担う都市形成を図ることになった。平成 22 年に市の総合計画や都市計画マスタープランの中で橋本と相模原の 2 地区を「首都圏南西部の広域交流拠点」として位置づけ、様々な都市機能の集積等により市全体の都市力の向上、発展を目指すこととした。

政令指定都市ビジョンで決められたという理解でいいか。

基本計画の中には「広域交流拠点」の定義を注釈等で説明したい。

バリアフリーという言葉は誤解される場合もあるので、ユニバーサルデザイン等の言葉のほうがいいのではないか。

既計画の名称等は変更できないが、今後検討する内容で扱う場合は適宜判断いただきたい。

第 5 章、第 6 章の具体的な取組の方向性等の書き方であるが、細かい内容と大雑把な内容が混在している。基本計画なので目指すべき方向性といったもっと大きい枠で捉えてもいいのではないか。

市民が具体的にイメージできるように編集したが、内容を整理して既計画等との整合も踏まえ再検討したい。

相模総合補給廠の一部返還予定地のゾーニングについては、関係者と合意した表現か。

活用方策の方針については双方で合意している。

共同使用区域の使用方法についても米軍と合意しているのか。

共同使用区域の具体的な使用方法については、現在関係機関と協議中である。相模総合補給廠に関する図面について、凡例の意味、内容がわかりにくいので説明をお願いしたい。

わかりやすく修正したい。

どこまでが合意された内容なのかわかるような表現にしていきたい。

一部返還予定地と共同使用区域については記述内容を精査する。

第1章3の基本計画の位置づけについて、図に示されている部門別計画と広域交流拠点基本計画との関係性を確認したい。部門別計画は、総合都市交通計画のみが関係するのか。

部門別計画の一部ということで示したが、他の部門別計画も整理したい。体系図を見ると、区ビジョンと基本計画は連携していないように見える。区ビジョンとの関連を再度整理したほうがよいのでは。

体系図の表現を修正したい。

基本計画対象エリアの図に「中央区役所」の記載をお願いしたい。

ご指摘のとおり修正する。

第3章の「本市における都市づくりの課題」は、「課題」とあるが記載内容は推進方策であり、「社会経済情勢の変化を踏まえた都市づくり」は、国の都市づくりにおける方向性、課題の内容である。「課題」という言葉の使い方を見直してはどうか。

また、駅勢圏の図をみると、現在の交通アクセスでは埼玉方面の圏域が現実的ではない気がする。埼玉県西部から人を呼び込むためには、将来的にJR八高線の整備が必要になる。計画への具体的な記載は難しいかもしれないが、戦略的なことを考えないとこの駅勢圏のとおり人が動くとは考えにくい。広域的な交通結節点のイメージとしては、JR八高線の強化、もしくは広域的なバスネットワーク体系が必要であり、橋本駅周辺はそのようなバスネットワークなども踏まえた整備が重要になる。

また、導入機能の方向性で示している内容と、後述している整備内容の整合が取れていない部分がある。既計画からの引用の箇所もあり、既計画は修正し難いかもしれないが、可能であれば時点修正を検討してはどうか。

第3章については都市計画マスタープランから抜粋しているが、ご指摘のとおりわかりやすい表題や内容としたい。駅勢圏については、鉄道や自動車等の要件を整理した内容を記載したい。圏央道利用による圏域の拡大は重要なポイントと考えており、相模原ICからのアクセス性の強化や高速バスによる運行なども考慮した土地利用、駅前空間などを検討している。

自家用車でのアクセスも考えているのであれば、橋本駅前の整備内容に駐車場の検討もすべき。駅勢圏のポテンシャルを活かすためにはバスネットワークが重要だが、将来的には駐車場検討も課題として示してはどうか。

駐車場などの導入機能について再整理したい。

JAXA についての記載はどうか。

JAXA は橋本地区における情報発信機能として、リニアとあわせて本市の技術発信としたいが、文章表現については再整理する。

相模原市の特徴でもあるので、導入機能の方向性の内容と土地利用方針等の本文中の表現を工夫して記載いただきたい。

小田急多摩線の延伸計画の状況を説明いただきたい。

相模総合補給廠の一部返還合意を契機に、国土交通省、東京都、町田市、鉄道事業者と実現化に向けた検討をしている。

東京圏の鉄道網の将来あるべき姿は、運輸政策審議会において答申が出されており、その目標年次が平成 27 年となっている。

今はその見直しの時期にきており、それに向かって市・県が国に働きかけている状況だと思われる。事業化の話はどうか。

事業が決定しているわけではない。関係者の合意形成を目指し調整している。相原高校は職業能力開発大学校跡地へ移転するわけだが、相原高校は農業科、畜産科等の特色を有しており、^{ほじょう}圃場等の自然環境もある。移転の際にそういった環境等のケアは考えているのか。また、協同病院も移転すると聞いているが状況はどうか。

相原高校については、職業能力開発大学校跡地が移転候補地に決定し、学校関係者とも合意の上調整に入っている。また、高校の特色を保持した教育機能を向上させるべく移転に向けた準備を調整している。

協同病院については、現在移転に向けて具体的な検討を始めた段階と聞いている。

学校といった教育の場と病院が隣接することに環境などの問題が生じないか懸念される。今後十分検討していただきたい。

検討材料として議論いただきたい。

広域交通ネットワークの具体的対策である JR 相模線強化について、相模原市は同盟会の事務局でもあるので少し強めに書いてもいいのでは。県全体の活性化という視点では県南北の連携が重要だと認識している。また、土地利用の方向性について、相原高校周辺は都市計画上、第二種住居地域であるが、機能の集積を図るのであれば高度利用が必要になる。この基本計画が今後の都市計画の基本となるので、高度な土地利用を図る考えを示してはどうか。

具体的内容と根幹部分の内容の書き方を工夫して再整理してほしい。

JR 相模線については、現在単線ということもあり他路線よりも輸送力増強が望まれている。同盟会での要望とあわせて本計画においても強調した表現にしたい。橋本駅前の高度利用については、今後のまちづくりにおいて必要性を感じている。具体的な表現は整備計画の検討事項としたい。

「JR 横浜線の連続立体交差化の検討」とあるが、実現には相当な労力を要すると聞いている。スケジュール等も含めて慎重に検討していただきたい。

基本計画自体はインフラ整備を中心に記述されているが、「さがみロボット産業特区」についても強調していただければ、産業振興の観点からも相乗効果が期待できると思われる。

書き方について再整理する。

第 5 章、第 6 章に、「駅前広場整備方針」とあるが、本文中には広場以外の駅前空間についての内容が記述されているので、目次タイトルを「駅前空間整備方針」などに変更しては。

ご指摘のとおり修正する。

今後の修正と次回の委員会内容はどのようになるか。

今回のご意見は次回委員会までに資料へ反映する。

さらに細かいご指摘やご意見は次回委員会前までに指摘いただければよいのでは。

次回委員会までの日程を考慮し、1月17日までにご意見をいただきたい。

基本計画の構成そのものについてのご指摘はなかったと思う。今回の修正案を次回委員会に提示し、再度ご意見を伺い、それを修正したものをパブリックコメントへ出すという流れになる。

まだご発言されていない委員から何か発言は。

在来線の速達性の向上や多摩方面からのアクセス強化、在来線駅とリニア駅との距離など難しい課題が多々あるが今後も調整、協力させていただきたい。

現在は徒歩圏の相原高校も移転に伴いバス交通が必要になる。また、橋本・相模原駅周辺ではリニア開業前に都市の骨格を形成することと、地域全体で公共交通の速達性を確保したい。今後も様々な課題に向けて協力させていただきたい。

JR 横浜線、相模線だけでなく八高線についてもご意見をいただいた。交通事業者として必要なことは対応するべきと考えるが、利用者あつての交通事業なので、鉄道のみならず交通事業全体のバランスを取りながら、利用者の増加が見込まれる施策検討をしていただきたい。

現在、リニア中央新幹線については環境影響評価を行っており、今夏には評価書をまとめる。工事実施計画認可が下りると地元に入り説明会を行っていくという流れになるが、いよいよまちづくりとの関係性が深まっていく。今後も調整、協力をお願いしたい。

本委員会はこれまで6回開催してきているが、詰めるべきところはまだある。今後ともご協力をお願いしたい。

以 上

第6回 広域交流拠点基本計画検討委員会委員名簿

	区 分	備 考	出欠
1	1 学識経験者	(1)岸井隆幸 日本大学理工学部教授	出席
2		(2)屋井鉄雄 東京工業大学大学院総合理工学研究科教授	欠席
3		(3)飯島泰裕 青山学院大学社会情報学部教授	出席
4		(4)市川宏雄 明治大学専門職大学院長 公共政策大学院ガバナンス研究科長	欠席
5		(5)中林一樹 明治大学大学院政治経済学研究科特任教授	出席
6	2 市民等	(1)田所昌訓 相模原市自治会連合会会長	出席
7		(2)座間 進 相模原市商工会議所専務理事	出席
8		(3)齋藤邦雄 相模原市観光協会副代表理事	出席
9		(4)櫻井正友 市民公募委員	出席
10		(5)穴戸和夫 市民公募委員	出席
11		(6)渋谷隆宏 市民公募委員	出席
12	3 公共交通事業者	(1)山口 拓 東日本旅客鉄道株式会社横浜支社企画部長	出席
13		(2)黒田 聡 小田急電鉄株式会社交通企画部長	欠席
14		(3)高山恒明 京王電鉄株式会社鉄道事業本部計画管理部長	出席
15		(4)三木健明 神奈川中央交通株式会社運輸企画部長	出席
16	4 関係行政機関の職員	(1)田村俊彦 国土交通省関東地方整備局企画部広域計画課長	代理出席
17		(2)榎本考暁 国土交通省関東運輸局企画観光部交通企画課長	欠席
18		(3)野田久義 神奈川県産業労働局産業・エネルギー部産業立地課長	代理出席
19		(4)和田潤一 神奈川県県土整備局都市部環境共生都市課長	欠席
20		(5)寶珠山正和 神奈川県県土整備局都市部交通企画課長	出席
21		(6)瀬崎瑠里 神奈川県警察本部交通部交通規制課長	欠席
22		(7)進士力 神奈川県相模原警察署交通第一課長	欠席
23		(8)太田剛 神奈川県相模原北警察署交通課長	欠席
	オブザーバー	二村 亨 東海旅客鉄道株式会社中央新幹線推進本部企画推進部担当部長	出席